

度は悪性血液疾患に比し著明に減少しており分解量も正常か軽度増加にすぎない。この差異についてはさらに検討したい。

*

62. クッシング症候群3例のアルブミン代謝の特徴について

水野義晴 森脇 要 梶山泰男
菅瀬 透 西川光夫
(大阪大学西川内科)

Glucocorticoid はタンパク代謝を亢進させ、アルブミン代謝に対する影響として血中半減期の短縮、プールの減少、アルブミン合成量(平衡状態では分解量に等しい)の増加が報告されている。われわれはRISAを用いて、クッシング症候群3例(副腎腺腫2例、過形成1例; 腺腫2例では尿中17-OHCSのみ増量、過形成例では17-KSも増量していた)のアルブミン代謝を検討した。3例に共通な傾向としてアルブミン合成量(=分解量)は正常、血管外アルブミン量がほぼ半減、血中半減期は短縮しているがわれわれが分解の指標とする血中アルブミンに対する分解率は正常範囲内であった。分解率、分解量(=合成量)の増加のない理由について考察をのべる。

*

63. 肝疾患のアルブミン代謝の検討(第2報)

—とくに¹³¹Iアルブミン、⁵¹Crアルブミン
Doble Tracer 法によるタンパク漏出を中心として—

湯本泰弘 中川昌壯
(岡山大学小坂内科)

肝硬変で血清アルブミン濃度(SA)、総アルブミン量(TEA)、アルブミン分解(合成)量(ATOV)の低下を認めたが、広範な壞死と小葉の変形に加えて細胞の腫大を組織的に認める亜急性肝炎の症例でアルブミン代謝の軽度の低下のみを認めた。別の亜急性肝炎の症例は4年間の経過中に前後3回の再燃を繰り返し肝硬変へと移行して昏睡にまで陥った症例であるが、その症例のアルブミン濃度およびアルブミン代謝の変動をみると第1、第3再燃時にSAの低下と第再燃時のATOVの低下を呈した。治療により軽快するとアルブミン代謝も正常化に向った。第2再燃の回復期にはほぼ正常となったが治療剤として6MP 75mgを投与したところ ATON は 225mg/kg と軽度の低下を示した。肝硬変における ATOV の低下に示

されるような合成能の低下に加えてさらに腸管への漏出が考えられるが、その有無をSQUIB製の radiochromatid human serum albumin を用いて Waldman の方法に従い検討を加えた。糞便排泄率(FE)は対照5例で投与量の0.17~0.5%であり、タール便および潜血反応(+)を認めた症例に1%を越えるものがあったが、肝硬変26例の平均は0.54±0.20%で対照群とのあいだに有意差はなかった。SAとFEのあいだには-0.35の相関がありSAの低下している症例においてさえも FE は小さくなかった。次いで¹³¹I-アルブミンと⁵¹Crアルブミンを同時に静注してアルブミン代謝と⁵¹CrアルブミンのFEを同時に算定してTEAに対するFEの比をRFEとして表わし、肝疾患について比較を行なった。

対照5例のRFEは1.24±0.34 (%/g)に対して肝硬変ではp<0.05で有意の高値を示した。とくに腹水、静脈瘤および黄疸を伴なった重症肝硬変症5例では明らかなRFEの上昇(p<0.01)を示した。タール便のある1例ではREF 13.5と高値を呈した。しかしながら軽症の肝硬変においては対照群とのあいだに有意差はない。以上により重症肝硬変においてはアルブミン合成能の低下に加えて比較的なタンパク漏出という因子がある、それらがSAの低下とTEAの減少を招来しているものと考えられる。

*

64. 多核種 Tracer 法による水、電解質体組成の測定

—とくに Na 量の評価法について—

村上元孝 黒田満彦 能登 稔 東福要平
(金沢大学村上内科)

Na が広く細胞外液相に分布する電解質であることから、細胞外液量(以下 ECW と略)などの体液区分との関係を観察し、体内Na量の表現法などに検討を加えた。

方法および成績：⁵¹Cr-Ethyleue Diamine Tetracetate(以下⁵¹Cr-EDTAと略) 200μCi, ²²Na 20μCi, および³H₂O 2mCiを混合静注。³H₂O は Werbin, H. らの方法に準じてベンゼンとともに蒸溜分離し、液体シンチレーターで効率18.5%で測定。⁵¹Cr および²²Na はγ線波高分析により、⁵¹Cr は 0.320MeV を微分法で、²²Na は 0.511 MeV 以上を積分法で選別測定した。⁵¹Cr-EDTA による ECW の測定は別に報告したが浮腫例でも 60 分以内に平衡を完了すること、経時的変動の少ないと、など適当といえた。Total Exchangeable Sodium(以下 TE Na と略) は Olesen の方法に従い、total body water(以